

リーディングDXスクール事業【実践事例】

湖南省立菩提寺小学校（滋賀県）

【取組内容④】 校内研主任発！対話的・協働的な教員研修

夏の校内研修「他者参照」「共同編集」「チャットでの振り返り」→ **即効性と手軽さ**を体感

夏の学び 校内研全体会2

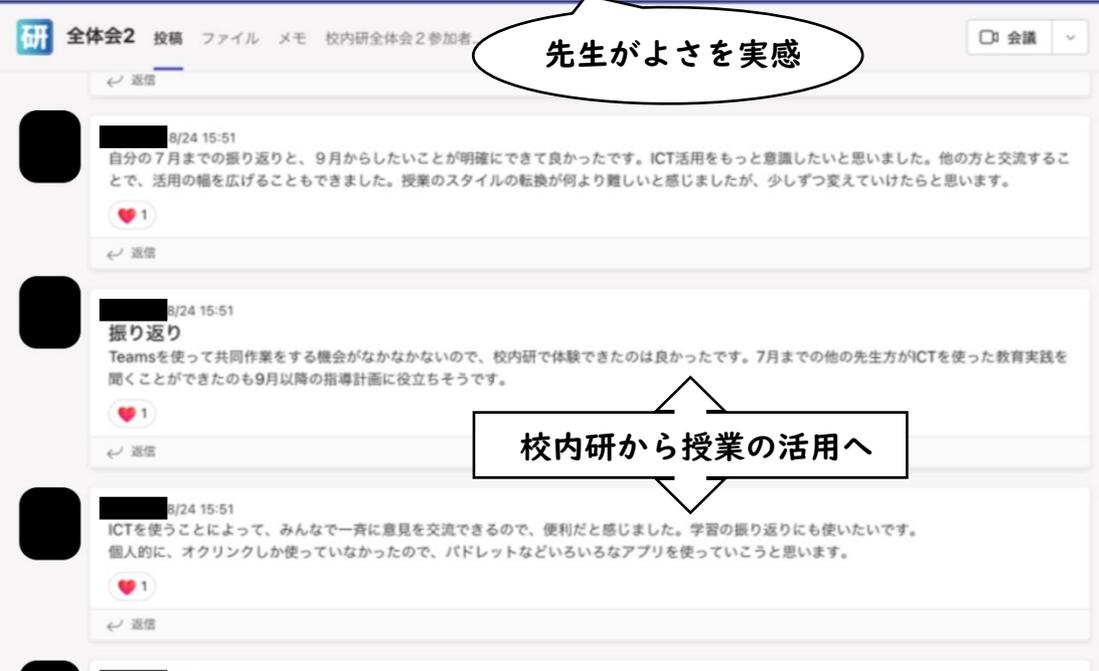


体験！共同編集 教師の学び≒子どもの学び

子どもの学びを変えていくにはまずは教師から。ということで、今回は参加者主体の体験型研修を行いました。それぞれがこれまでの実践を振り返り、9月以降の実践計画を作成。それをスライドにまとめ、Teamsを使って共有することで、共同編集（他者参照）の体験をしてもらいました。初めてうまくいかないこともありますが、それも含めて「まずやってみる」ことの大切さを感じてもらえることができたと思います。

校内研主任の「やってみよう！」

子どもの学習活動と教員研修は相似形
夏季学習会（大阪）での学びを生かして



校内研から授業の活用へ

3 体験型研修

今日のめあて
校内研究の主題にせまるために…

7月までの自分の実践を振り返り、
9月以降の実践計画を立てよう。

4 体験型研修

7月までの振り返り(成果と課題)
↓
9月からのめあてを設定
↓
達成するための計画・具体的な取り組み
↓
パワーポイントのスライド2枚にまとめて発表

38

16

7月までの振り返り

成果

- ① 成の決まりの学習で、夏休みの式を考案する時に活用することで、新に式を書いてやりとりをするのは違った興味を持たせることができた。
- ② クイズを作って、時間や場所が違うところでも学習していた。
- ③ 漢字の書き順アプリを使って、正しい書き順に気をつけて書ける授業に入るのが喜ぶ児童が、YouTubeの動画で繰り返し動画を観ていた。

課題

- ① グループでの話し合い活動にも活用したいが、Teams
- ② 表計算ソフトを使ってグラフを作るという使い方も

9月からのめあて

① もっとICTを活用する機会を増やす。

39

16

9月からの実践計画

- ・iPadを使って共同での作業をする機会を増やす。
- ・表計算ソフトなどを使って、プログラミングの基礎的な考えを学ぶ機会を作る。
- ・委員会活動で動画作成を子どもたちに体験させる。

プログラミング

5-1 学級 「よりよい学校生活のために」

いつも手元にICT
新しい話し合いのスタイル

ICTを有効に活用して、対話力をどう高めるか。夏休みから何度も検討を重ね、これまでの校内研の学びをいかした授業づくりをしていただきました。ICTはあくまで話し合いの補助として、「道具」として使う。リーディングDXスクール事業が目指す新しい授業のスタイルです。先生方の研究会も同じ形式ですが、少しずつ慣れてきてもらっているように感じました。当たり前を変えるのは簡単ではありませんが、一人ひとりの「ちょっとやってみる」が大きな「変化」を生みます。藤堂先生の今回の授業は、その大きな1歩となりました。